



悠久の名詩選Ⅱ

中国の名作シリーズ

悠久の名詩選Ⅱ

中国の名作シリーズ

公益社団法人 関西吟詩文化協会



二代会長 宮崎東明先生 会訓

巻頭言

之を知るものは之を好むものにならず、之を好むものは之を楽しむものにならずとは、孔聖の道を語りし所なり。吟詩も亦然り。ただ其の詩を知り、その詩を吟ずるのみなるは未だし、之を好むにいたりてよし。ただ之を好むも未だ可ならず、其の意を悟り其の義を楽しむにいたりて完きなり。楽しめば則ち生ず。詩中の景、詩中の情、油然として其の心に生じ来りて、己れ遂に詩中の人となる、これを同化という。吟詩の妙味ここにあり、修養の道も亦ここにあり。われ諸君とここに従事せん。

初代会長 藤澤黄坡先生 遺訓

発刊にあたって

公益社団法人 関西吟詩文化協会 総本部

会長 地藏哲暲

平成三十年度本会は、創立八十五周年並びに公益社団法人設立七周年記念全国吟道大会を一年間かけて全国五地区で盛会裏に実施することが出来ました。そしてもう一つ長年の懸案事項であった本部会館の改修工事が終わり、新しい快適な関西吟詩会館が竣工致しました。この二つの大きな慶事に当って全国会員に何か形ある記念を残したいと考え、役員諸先生の賛同を得て、此度『悠久の名詩選Ⅱ』（中国の名作シリーズ）を発刊させて頂くことになりました。

私達が楽しむ、中国詩は、時空を超え、読む人に深い

感動を与えてくれます。それは、詩の中に込められた作者の心情が、吟う人・聴く人・観る人に訴えてくるからであり、憂愁・悲憤・慷慨・望郷・友情・山紫水明等、作者の心の叫びであります。

これらの名詩をより深く鑑賞するための詳解書を求める声が多く、本会では、機関誌「吟詩日本」に「悠久の名詩」として漢詩・作者をより詳しく紹介して参りましたが、平成二十五年度「創立八十周年記念事業」として三十五題の漢詩を『悠久の名詩選』（中国の名作シリーズ）として発刊させていただき大変好評を頂きました。今回はその後五年間の「吟詩日本」掲載の二十二題を採録、第二弾としてお届けするものであります。

本書を通じて、皆様方の吟詠活動がより深く楽しいものになれば幸いです。

目次

巻頭言・発刊にあたって	4
中国地図	8
悠久の名作シリーズ	
1 『月夜』 杜甫	10
2 『歸省』 狄仁傑	14
3 『梅花』 高啓	17
4 『過零丁洋』 文天祥	20
5 『除夜作・別董大』 高適	25
豪壮にして節義を重んじた辺塞詩人	
6 『春夜聞笛』 李白	29
詩人の中の仙人といわれる李白はやはり人間であった	
7 『送友人』 李白	32
8 『曲江』 杜甫	34
9 『別妻子良友』 謝枋得	38
10 『滕王閣』 王勃	42
11 『從軍行』『出塞行』 王昌齡	46
辺境警備兵士の心境を詠う「辺塞詩」二題	
12 『己亥歲』 曹松	50
ひとり歩きする名句「一將功成り万骨枯る」	
13 『吹笛』 杜甫	55
杜甫晩年の漂泊	
14 『書憤』 陸游	59
熱誠の人 陸游	
15 『子夜呉歌』 李白	63
思う人と会えぬ女性の悲しさをうたう	

16 『貧交行』 杜甫……………67

年表……………93

17 『度桑乾』 賈島……………71

参考資料……………99

住めば故郷か、深まる郷愁か

編集を終えて……………100

18 『山行』 杜牧……………75

最晩年杜牧が描く理想郷

19 『勸学』 陶淵明……………78

この四句だけなら日本人好みの立派な教訓詩

20 『長安春望』 盧綸……………82

乱世には武、治世には文

21 『偶成』 朱熹……………86

学問の道は待ってこない

22 『春夜』 蘇東坡(蘇軾)……………89

春の夜の静かに美しくただようムード

